

「第23回光物性研究会(2012)」のご案内(First)

開催日	: 2012年12月7日(金)、8日(土)
開催場所	: 大阪市立大学 学術情報総合センター 大阪市住吉区杉本 3-3-138
論文投稿締切日	: 2012年10月29日(月)(pdf ファイル投稿)
参加登録締切日	: 2012年10月29日(月)
(この後の参加登録も受け付けますが、参加費が上がります)	

研究会の概要:

本研究会は、1990年より始まり、今年で23回目を迎えます。今年度の研究会では、「チュートリアル講義」と「特別講演」を招待講演とし、一般発表は、特にテーマを設定せず以下の諸課題を中心に広く議論することを趣旨としております。これは、多岐にわたる光物性およびその関連分野の若い研究者、学生に発表と討論の機会を提供し、研究者間の交流、情報交換の場となることを研究会開催の主目的としているからです。そのために、十分に時間をかけて自由に討論できるポスター発表を研究会の中心に据えています。また、全てのポスター発表には、ショートプレゼンテーション(3分程度)が付随する予定です。全国の研究者、学生の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

課題: 励起子光学応答、超高速光学過程、非線形光学現象、低次元系の光物性、光誘起相転移、局在状態(緩和励起子)の光物性、ナノ構造物質による光機能制御、光エレクトロニクス・量子情報・太陽光発電等材料への応用、プラズモニクス、光化学反応、光合成・生体関連物質の光物性、材料・デバイスの光学評価、新分光法、その他。

チュートリアル講義: 大学院生、若手研究者を主対象に、光物性の中心テーマに関する解説的講演(90分)

特別講演: 光物性の先端的な研究に関する講演(60分)

光物性研究会奨励賞: 将来の光物性研究をになう優秀な大学院生の研究・発表を奨励し、今後の研究の一層の発展を期待して表彰を行います(受賞件数は発表総数の5%程度:概ね4~5件)。本賞の受賞対象者は、事前にエントリーの必要があります(詳細はweb上で案内します)。

研究会の情報: [https:// sites.google.com/site/hikaribussei/](https://sites.google.com/site/hikaribussei/) から”光物性研究会”に入って下さい。

直接の URL: <http://pltop.shocomarec.kumamoto-u.ac.jp/HIKARI/index.html>

全ての連絡(参加登録、プログラム、論文書式、参加費振り込み等の案内)は web で行いますので、その旨をご注意下さい。

論文集: 論文集を発行し、参加者全員に一部を配布します。論文は各発表4頁です。**論文の提出が発表の条件になります。**また、論文は web において public domain に公開します。投稿の際に公開の可否をご指定ください。

論文投稿締切日: 10月29日(月):pdf 投稿

参加費: 10月29日まで 教員、研究機関、企業関係者 5,000 円、学生 3000 円

10月29日以降 教員、研究機関、企業関係者 6,000 円、学生 4000 円

参加費の振り込みについては、web に記載している郵便振込口座をお願いします。

研究会問い合わせ先: 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1

(組織委員長) 大阪府立大学大学院工学研究科電子・数物系専攻 石原 一

(e-mail) ishi@pe.osakafu-u.ac.jp, (tel & fax) 072-254-9268

組織委員: 石原照也(東北大・院理)、枝松圭一(東北大・通研)、末元徹(東大・物性研)、嶽山正二郎(東大・物性研)、武田淳(横浜国大・工)、田中耕一郎(京大・院理)、金光義彦(京大・化研)、伊藤正(阪大・院基礎工)、小川哲生(阪大・院理)、中山正昭(阪市大・院工)、石原一(組織委員長:阪府大・院工)、内藤裕義(阪府大・院工)、溝口幸司(阪府大・院理)、篠塚雄三(和大大・工)、喜多隆(神大・工)、河本敏郎(神大・理)、高木芳弘(兵庫県大・理)、赤井一郎(熊大・衝撃セ)、

実行委員: 石原一(委員長:阪府大・院工)、赤井一郎(熊大・衝撃セ)、飯田琢也(阪府大、ナノ科学材料セ)、大島悟郎(阪府大・院理)、河相武利(阪府大・院理)、小林隆史(阪府大・院工)、沈用球(阪府大・院工)、余越伸彦(阪府大・院工)